



産婦人科必修母体急変時の初期対応：
J-CIMELS公認講習会ベーシックコーステキスト：
シミュレーションで分娩前後の母体安全を徹底理解！
日本母体救命システム普及協議会，京都産婦人科救急診療研究会編著。
— 第2版。— メディカ出版，2017。
ISBN：9784840458399

REVIEWER

医学研究科 人間健康科学系専攻
M1

「自分の受け持っている方が急変しちゃったらどうしよう…」と知っているあなた！

「いやいやそんなことはない、大丈夫だろう！」と知っているあなた！！

「自分が受け持っている方は大丈夫だろう」

そう思っていないですか？それはとても危ない考えです。いついかなるときもリスクのない安全な状態だと言い切ることができるものはありません。

「学生が受け持てるってことは他の方よりも危なくなる可能性は低いってことじゃん」

という反論があるかもしれません。確かに可能性は低いかもしれませんが、ゼロではないということを忘れてください。実際に私が実習をしているあいだに出血量の多くなった方が数名いらっしゃいました。すぐに対応したためさらに多くなることなく経過しましたが、1人でも対応できたのかな、もしさらに多くなってしまっても対応できたかな、と考えると自信がありませんでした。

では、あなたはもし何かあったときにすぐに対応することができますか？目の前にある命を救うことはできますか？？

「できないかも…」

「なんとなくすべきことは分かるけど、本当に起こったときに落ち着いて対応できるか不安…」

(裏へ続きます)

495

7

N 77

医人健開架

⇒⇒⇒

と思ったそのあなた！！ぜひこの本を手にとってみてください。目の前で急変するなんてあまり考えたことはないけど、いざ考えてみると不安…という人にピッタリの本なのです。また、この本はシミュレーション型です。なので、講義でよく使う本のように疾患名がまず分かっていてそこから特徴を見ていくのではなく、実際の現場をイメージしながら症状から様々な危険な状態について（例えば、正常経膈分娩後に出血が増加した場合、陣痛室で急激な下腹部痛を訴え始めた場合など）考えていくことができます。

自分でひたすら読んで考えてみるのもよし！友達と一緒に話しながら、議論しながら考えていくのもよし！！上で例に挙げたような正常経膈分娩後に出血が増加した場合、陣痛室で急激な下腹部痛を訴え始めた場合など、まずは何を見たらよいのでしょうか？そのあとはどんな行動をとったらよいのでしょうか？ぜひ一度シミュレーションしてみてください。

救急知識も豊富なので、産婦人科関係の方・興味のある方だけでなく、救急関係の方・興味のある方にもオススメの一冊です。

そして、この本をきっかけにもっと勉強したい！と思った方はさらなる専門書を読んでみませんか！？

受理：2018-03-01